

平成27年度第1回 秦野市情報化推進委員会（会議概要）

日 時	平成27年11月5日（木） 午前10時～11時45分
会 場	西庁舎3階会議室（市役所西庁舎3階）
出 席 者	委員（14名中8名出席） 内藤委員、中尾委員、大屋委員、柳川委員、関委員、 田中委員、大塚委員、石井委員
	秦野市 安居院情報システム課長、渋谷課長代理、大曾根主事、 濱田主事、小島主事補
内 容	1 開会 2 議題 (1) 秦野市情報化推進計画の進ちよく報告について 資料1 (2) 次期情報化推進計画の策定について 資料2 3 閉会

次 第	会 議 概 要
開 会	<渋谷課長代理> ・ 司会進行
	<情報システム課長> ・ 会議参加の御礼及び挨拶
	・ 事務局及び委員の自己紹介
議題1	<p>秦野市情報化推進計画の進ちよく報告について</p> <p><資料1に基づき、事務局が説明></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現情報化推進計画の総括として下記の項目について説明 <ol style="list-style-type: none"> 1、計画の体系 2、個別の事業推進計画に対する総括 3、現情報化推進計画による事業実施計画の成果 4、各基本方針に係る事業の進行状況 5、計画の遅延または未達成の理由 6、次期計画で目指すべきもの ・ 事業推進計画の実施状況一覧について説明 <p><資料1について意見・質問></p> <p>(A 委員)</p> <p>実施状況一覧については以前の会議で委員の方より指摘があ</p>

次 第	会 議 概 要
	<p>り、大変見やすくなった。業務の性質により、どうしても計画通り進めることができないものもあるはずなので、実施状況の達成度の数字自体にはあまり拘らなくてもよいように思う。</p> <p>(A 委員)</p> <p>電子申告はどの程度普及しているのか。</p> <p>(事務局)</p> <p>法人市民税は平成26年度で約6割の利用率になっており、導入当初より利用率は増加している。しかし、紙の需要もあると思うので一定のところまでしか増えないと思う。</p> <p>(A 委員)</p> <p>しばらくは電子申告と紙の2本立てで続くということでしょうか。</p> <p>(事務局)</p> <p>将来的には電子申告の需要が増えることは十分考えられる。</p> <p>(A 委員)</p> <p>電子黒板は1校に1台とのことだったが、もう少し増えないのか。</p> <p>(事務局)</p> <p>モデル事業ならば補助金が出るので可能かもしれないが、そうでなければ、秦野市は小中学校合わせて22校あり、予算的に難しいのではないかと考える。</p> <p>(D 委員)</p> <p>小中学校に設置する予算の面の問題は確かにある。教育現場は先生が日常的に非常に忙しいし、余裕がないのが実態である。そのため電子黒板の導入については先生の負担が大幅に減るといったメリットが必要。各校1台ではあまり意味がない。</p> <p>(H 委員)</p> <p>このようなものは買い取りになるのか。新しいものが出たらすぐ取り替えることができる点を考慮するとリース契約が良いと思う。</p> <p>(事務局)</p> <p>リース契約は5年契約が一般的と考えられるが、新しいものが出たらすぐに交換するのは難しいものと思われる。</p> <p>(H 委員)</p> <p>例えば私は納税については電子版では行わない。大人がメリットを感じないと電子版は普及しない。そのために小中で電子</p>

次 第	会 議 概 要
	<p>版を体験させ、その子供たちが将来大人になったときに電子版を利用したいと感じさせるという思惑は良い。先生だけでなく生徒もメリットを感じないと定着しないと思う。</p> <p>(A 委員)</p> <p>水道業務については外注して事務効率が上がったということではよいか。また、外注すればどの業務も事務効率は上がるのか。</p> <p>(事務局)</p> <p>本市の中で外注のメリットの効果があるか検討している。一時期に比べると外注のメリットが薄れてきているという話も聞く。新しい分野については、メリットがあると思う。</p> <p>(A 委員)</p> <p>企業側で行っている委託サービス等ご存じであれば教えてもらいたい。</p> <p>(B 委員)</p> <p>行政に関する総合受付のようなコールセンターの役割を果たす業務委託等を行っている。行政が持つ施設について指定管理者制度を導入して外部委託されて効率化している自治体は多いと思う。行政業務全体に対して効率化を検討していると思うが、水道業務は外部委託の中でも事務の効率化が分かりやすいので、秦野市は先行して成果を出したのではないかと感じる。</p> <p>(A 委員)</p> <p>電子市役所の推進について、世間ではフェイスブックやツイッターといったものが流行しているが、秦野市では何か行っていないのか。</p> <p>(事務局)</p> <p>広報課がメインとなって行っており、ソーシャルネットワークを活用する計画があるようである。</p> <p>ツイッターは広報課、くらし安全課及び防災課がアカウントを取得して情報を発信している。</p> <p>他市町村の状況を見ながら有効活用していきたいと思う。</p> <p>(E 委員)</p> <p>自治会員の加入率が下がっている。加入していない人は「広報はだの」の戸別配布がされず、公民館等の施設に行かないと入手できない。広報の電子版があれば全員見ることができて良いと思っている。</p>

次 第	会 議 概 要
	<p>(事務局)</p> <p>秦野市は広報のPDF版を掲載している。また現在は広報課が、ページをめくって見るような機能をもった電子版広報の導入も検討している。</p>
<p>議題 2</p>	<p>次期情報化推進計画の策定について <資料 2 に基づき、事務局が説明></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 目的 ・ 基本理念 ・ 計画期間 ・ 第 4 期情報化推進計画で目指すもの ・ 新規計画概要について抜粋 <p><資料 2 について意見・質問></p> <p>(G 委員)</p> <p>定点カメラで撮影したものはどのような手段で公開されるのか。</p> <p>(事務局)</p> <p>具体的には決定していないが、ホームページ上で公開するものと思われる。</p> <p>(D 委員)</p> <p>テレビ神奈川から見てメリットがあるから定点カメラを設置しているのだろうが、市の要望で役に立つ箇所に設置できればよいと思う。</p> <p>(H 委員)</p> <p>表丹沢の登山コースに WI-FI スポットを設置するのは良い案だと思う。私が滞在した国ではカフェで無料インターネットが使える。最近では INSTAGRAM というツールを使ってお店の写真をアップして集客率を上げている。例えば誰かがお店についてツイッターでつぶやきをすると、お店がそのつぶやきをホームページにアップする仕組みがある。そのため市が発信するのではなく、観光客によって市の魅力が発信される仕組みを作ることができるのではないだろうか。</p> <p>一般的に登山コースは電波が入ってこなくてツイッターが利用出来なくなったりするので、登山コースに WI-FI スポットを設置するという案は評価できる。登山コースには外人だけでなく日本人にも WI-FI スポットで利用できるようにすれば更に魅力を発信できると思う。</p>

次 第	会 議 概 要
	<p>(F 委員)</p> <p>資料1について、小中学校における情報化の推進の中でタブレットを導入しました等の記載があるが、一層便利な市役所という観点から見るとこれは成果ではなく、ただ物を入れただけに思う。新しい計画の中にタブレット端末の導入について記載があるが、導入すれば効率的になるとは限らない。導入することに価値があるのではなく、導入することでどのように効率化が進むのかを明確にした計画を作成してもらいたい。</p> <p>(H 委員)</p> <p>そのとおりだと思う。計画の作成だけでなく、電子化のメリットの啓蒙活動、営業活動を行う部隊を育成し、各施設に説明しに派遣したりすることで利用者を増やすといった取組みに税金を投入してもよいと思う。</p> <p>(E 委員)</p> <p>情報化推進計画の内容は各部署からの要請により作成していくのか、それとも情報システム課が主体となって作成していくのか。</p> <p>(事務局)</p> <p>基本的には関係各課からの情報提供に基づいて計画の作成をする。その中で情報システム課側からも提案をしつつ、関係各課と連携して進めていく。</p> <p>(D 委員)</p> <p>一市民の立場からすると、情報化推進計画の内容がどのようなものであるかより、実感する成果としてどのようなものがあるのかを期待しているので、一番肝心の成果の部分を情報化推進計画に記載してもらいたい。</p> <p>(H 委員)</p> <p>海外では行政の強制力が強い国もある。強制的に事業を行うというのも市の方針として取り入れても良いかもしれない。</p>
その他	<今後の予定について事務局が説明>
閉 会	<会議参加の御礼及び閉会のあいさつ> 11時45分終了